



愛知県議会議員

— 民主党 1期 —

中村 晋



466

計画・着工中の全国143のダムのうち国が直轄する48のダム事業の凍結が表明されました。マニフェストに盛り込まれていた八ツ場・川辺川ダム中止も含まれています。そして愛知県に關係

昭和30年1月19日生まれ
豊田市永覚町上長根5-208
全トヨタ労連顧問
愛知県議会産業労働委員会委員
同少子高齢化・人づくり特別委員会委員
民主党愛知県議員団 政務調査会長
民主党愛知県第11区総支部支部長代行
豊田市ボウリング協会会長

ダム凍結・都市の課題は何か

する設楽ダムは本年度中に新たな段階に入らない、木曾川水系連絡導水路事業は工事を見送る、との方針が下されました。

多く、その間に人口や水需要量や環境問題など、計画の前提となる硬直的なダム事業を立ち止まって考える

いう意味では画期的なものと思います。いまや国も地方も危機的な財政状況です。一度決めたからといって何十年も前の計画を引き摺って、公共事業を優先させる財政力はありません。全国14

た丁寧な対応は必須で、地元住民の声を大切にした進め方を軽視してはなりません。限られた財源と環境問題といった時代に対応して水問題を考えるとき、利水・治水・濁水対策をすべて水源地域とコンクリートに依存することには限界があります。

調査をしているようですが、走り出した大規模事業を止める判断ができませんでした。今回のマニフェストや事業凍結の判断は、硬直的な大規模事業のあり方を一度立ち止まって再評価してみると

3.ダム事業の必要性と優先順位を改めて判断することは、今後の国と地方の経営を考える上で極めて重要です。もちろんダム建設を巡って何十年も翻弄されてきた地元住民の皆さんの生活再建に向け

節水意識の高揚や雨水の再利用、貯水機能の充実など、都市部で水を消費する私たちの努力も欠かせません。その上で山村部の森林整備を進め、ダムに依存しない地域づくりを進めたいものです。